



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 オカダアイオン株式会社 上場取引所 東
コード番号 6294 URL <https://okadaaiyon.com/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）岡田 祐司
問合せ先責任者 （役職名）専務取締役管理部門担当 （氏名）前西 信男 TEL 06-6576-1281
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	12,890	△1.4	1,250	7.4	1,253	13.7	849	16.2
2025年3月期中間期	13,067	△2.4	1,164	△23.6	1,102	△33.1	731	△33.9

（注）包括利益 2026年3月期中間期 721百万円（△35.4％） 2025年3月期中間期 1,115百万円（△11.5％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	105.52	105.32
2025年3月期中間期	91.00	90.70

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期中間期	36,303	17,370	47.8	2,155.64
2025年3月期	35,994	17,238	47.9	2,140.61

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 17,360百万円 2025年3月期 17,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	74.00	74.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	75.00	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	28,000	5.3	2,500	9.7	2,500	11.7	1,700	15.2	211.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	8,378,700株	2025年3月期	8,378,700株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	325,227株	2025年3月期	331,227株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	8,050,273株	2025年3月期中間期	8,036,756株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2 「1. 当中間決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
3. その他	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済及び世界経済は、米国関税政策や保護主義政策等を巡る先行き不透明感の高まりからやや弱めの景況感となりました。また、引き続き、米国の貿易・関税リスクや資源・エネルギー価格の動向、地政学リスク等、先行きの景気下押し要因が懸念されます。

このような環境のもと、当社グループは長期ビジョン「VISION30」の方針のもと、国内では足許の堅調な解体・インフラ工事需要に対応した増産と生産性向上を軸にした生産体制強化を注力課題として取組み、開拓余力の大きな海外では拠点展開している米国・欧州・アジアでの営業体制強化を図るなど、更なる持続的成長と企業価値向上に注力してまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高12,890百万円(前年同期比1.4%減)、営業利益1,250百万円(前年同期比7.4%増)、経常利益1,253百万円(前年同期比13.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益849百万円(前年同期比16.2%増)と前年同期比減収ながら価格改定とコスト削減が寄与し増益を確保いたしました。

当中間連結会計期間のセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

国内セグメントは、引き続き解体環境アタッチメントを中心に高水準の受注残を維持しており、増産や商材の確保に注力してきましたが、売上高9,813百万円(前年同期比0.1%減)と減収となりました。機種別には、主力の圧砕機は再開発やビル・工場等の建替等による解体需要が引き続き堅調ではあるものの、工事現場の工期遅れ等による納期ズレや各社ショベルメーカーの販売不振の影響、さらには大阪関西万博開催期間中の解体工事見合わせ影響等もあり売上高4,605百万円(前年同期比0.9%減)となりました。つかみ機は木造解体、災害復興等の需要は引き続き堅調であるものの、全般的には動きが鈍く売上高659百万円(前年同期比5.9%減)となりました。林業機械も出足が鈍く売上高757百万円(前年同期比13.8%減)となりましたが、南星機械販売部門との営業統合も2年目に入り販売体制の強化が図れてきております。ケーブルクレーン事業は、再生可能エネルギーとして見直されている水力発電所の改修工事などの受注は順調ながら、工期の関係などから売上高540百万円(前年同期比4.8%減)となりました。一方、輸入商材の大型環境機械は円安進行による仕入価格の高騰から引き続き販売に苦戦しているものの、入れ替え促進が功を奏し売上高343百万円(前年同期比33.7%増)となりました。アフタービジネスに関しては、原材料売上は942百万円(前年同期比3.9%減)と微減になりましたが修理売上高に関しては573百万円(前年同期比6.2%増)と底堅い伸びとなりました。その結果、セグメント利益は原材料価格の上昇に対応した販売価格の値上げにより利益を維持できたこと及び採算のとれる商製品の販売が寄与した事などから1,065百万円(前年同期比8.5%増)と増益となりました。

海外セグメントは、売上高3,077百万円(前年同期比5.2%減)と減収となりました。主力地域の北米に関しては、子会社オカダアメリカでは販売先での在庫調整などによる買い控えの影響は少しずつ回復傾向にあるものの、2022年12月に経営統合したオカダミッドウエスト社での商製品の販売減が響き売上高2,107百万円(前年同期比11.1%減)となりました。一方、欧州は一昨年後半からの需要の減速影響は受けつつも一部の商品での販売が伸びた事などから売上高534百万円(前年同期比6.6%増)となりました。アジア地域においては売上高289百万円(前年同期比6.9%増)となりました。セグメント利益に関してはオカダアメリカでの増収効果や経費の見直し等もあり192百万円(前年同期比9.3%増)と増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当中間連結会計期間末における資産の残高は、36,303百万円(前連結会計年度末35,994百万円)となり308百万円増加しました。受取手形及び売掛金が358百万円減少しましたが、建設仮勘定が733百万円増加したことが主な要因です。

(負債の部)

当中間連結会計期間末における負債の残高は、18,932百万円(前連結会計年度末18,755百万円)となり176百万円増加しました。流動負債のその他が445百万円、長期借入金が324百万円それぞれ減少しましたが、短期借入金が885百万円、1年内返済予定の長期借入金が117百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

(純資産の部)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、17,370百万円(前連結会計年度末17,238百万円)となり131百万円増加しました。剰余金処分の配当金支払595百万円を行いました。親会社株主に帰属する中間純利益849百万円を計上したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月14日に公表いたしました2026年3月期の通期連結業績予想につきましては変更しておりません。今後の業績推移を踏まえ修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,849,253	4,783,887
受取手形及び売掛金	4,631,883	4,273,783
電子記録債権	859,569	952,440
商品及び製品	8,765,402	8,844,166
仕掛品	406,837	422,204
原材料及び貯蔵品	4,363,832	4,433,082
その他	628,647	554,964
貸倒引当金	△1,711	△1,570
流動資産合計	24,503,714	24,262,959
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,272,230	4,153,463
機械装置及び運搬具(純額)	674,774	692,717
土地	3,370,379	3,371,443
建設仮勘定	1,069,685	1,802,745
リース資産(純額)	370,821	328,777
その他(純額)	54,004	50,343
有形固定資産合計	9,811,895	10,399,491
無形固定資産		
のれん	135,108	108,271
その他	278,904	283,683
無形固定資産合計	414,012	391,954
投資その他の資産		
投資有価証券	523,395	535,414
長期貸付金	203,850	193,390
繰延税金資産	379,439	385,990
その他	161,273	137,503
貸倒引当金	△2,876	△3,392
投資その他の資産合計	1,265,081	1,248,906
固定資産合計	11,490,990	12,040,352
資産合計	35,994,704	36,303,312

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,610,197	1,560,962
電子記録債務	1,725,485	1,695,950
短期借入金	9,435,492	10,321,082
1年内返済予定の長期借入金	698,188	816,042
未払法人税等	308,171	414,678
賞与引当金	287,256	316,374
役員賞与引当金	53,760	1,800
株主優待引当金	53,452	10,736
その他	1,510,257	1,065,088
流動負債合計	15,682,261	16,202,715
固定負債		
長期借入金	2,332,154	2,007,706
退職給付に係る負債	513,390	529,790
その他	227,979	192,252
固定負債合計	3,073,524	2,729,748
負債合計	18,755,786	18,932,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,221,123	2,221,123
資本剰余金	2,290,294	2,294,676
利益剰余金	11,739,015	11,992,997
自己株式	△221,221	△217,219
株主資本合計	16,029,210	16,291,577
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	202,361	221,970
繰延ヘッジ損益	△961	223
為替換算調整勘定	995,858	846,590
その他の包括利益累計額合計	1,197,259	1,068,784
新株予約権	12,448	10,486
純資産合計	17,238,918	17,370,848
負債純資産合計	35,994,704	36,303,312

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	13,067,052	12,890,579
売上原価	9,200,452	8,918,754
売上総利益	3,866,600	3,971,825
販売費及び一般管理費	2,701,622	2,721,148
営業利益	1,164,977	1,250,676
営業外収益		
受取利息	12,917	4,289
受取配当金	11,451	16,407
固定資産売却益	79,997	59,815
貸倒引当金戻入額	82	136
為替差益	—	18,619
持分法による投資利益	959	3,310
その他	17,827	8,245
営業外収益合計	123,236	110,823
営業外費用		
支払利息	79,564	93,036
為替差損	101,102	—
リース解約損	—	10,227
固定資産除売却損	776	5
債権売却損	3,174	3,240
デリバティブ評価損	—	1,531
その他	1,278	453
営業外費用合計	185,896	108,494
経常利益	1,102,317	1,253,005
特別利益		
投資有価証券売却益	—	29,825
受取保険金	—	10,890
特別利益合計	—	40,715
特別損失		
和解金	—	26,000
損害補償金	—	13,800
特別損失合計	—	39,800
税金等調整前中間純利益	1,102,317	1,253,920
法人税等	370,991	404,425
中間純利益	731,326	849,495
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	731,326	849,495

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	731,326	849,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,109	19,608
繰延ヘッジ損益	△2,799	1,184
為替換算調整勘定	377,835	△149,267
その他の包括利益合計	384,145	△128,474
中間包括利益	1,115,471	721,020
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,115,471	721,020
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金勘定	4,858,422千円	4,783,887千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△24,575	△326,692
現金及び現金同等物	4,833,846	4,457,195

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,821,157	3,245,894	13,067,052	—	13,067,052
セグメント間の内部売上高又は振替高	307,362	11,664	319,027	△319,027	—
計	10,128,520	3,257,559	13,386,080	△319,027	13,067,052
セグメント利益	981,688	175,980	1,157,669	7,307	1,164,977

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額7,307千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,813,075	3,077,504	12,890,579	—	12,890,579
セグメント間の内部売上高又は振替高	363,431	6,435	369,867	△369,867	—
計	10,176,506	3,083,940	13,260,447	△369,867	12,890,579
セグメント利益	1,065,197	192,432	1,257,630	△6,953	1,250,676

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額6,953千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

ハイブリッドバケット製造販売に係る訴訟

当社が製造・販売するハイブリッドバケット(林業機械)における一部の仕様について、松本システムエンジニアリング株式会社より当社に対して、特許侵害訴訟が提起されています。なお、現時点では影響額を合理的に見積ることは困難です。